

1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

【評価実施概要】

事業所番号	4570102899
法人名	有限会社 ライフサービス宮崎
事業所名	グループホーム だんらん
所在地	宮崎市大島町国草136-3 (電話) 0985-28-0900

評価機関名	宮崎県医師会サービス評価事務局
所在地	宮崎市和知川原 1丁目 101
訪問調査日	平成 21年3月 6日

【情報提供票より】(21年 2月 10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 6月 26日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 4人, 非常勤 4人, 常勤換算	4.6人

(2) 建物概要

建物構造	木造 平屋 造り		
	1 階建ての	1 階 ~	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷金	有(円) <input checked="" type="checkbox"/> 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) <input checked="" type="checkbox"/> 無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		

(4) 利用者の概要(2月10日現在)

利用者人数	8名	男性	1名	女性	7名
要介護1	5名	要介護2	1名		
要介護3	1名	要介護4	0名		
要介護5	0名	要支援2	1名		
年齢	平均 84.5歳	最低	80歳	最高	90歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	こざわ内科 ひがし歯科
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は幹線道路の近くに位置しており周囲には各種の医療機関がある閑静な住宅地の一角にある。広い庭に色々な草花や木が植えて日当たりもよく明るい。少ない職員で機能的な業務がなされるように夜勤専門のスタッフを入れるなどの工夫がなされている。毎日の業務の中で、職員全員が介護計画の評価をするシステムになっていて、その人らしい生活を笑顔で穏やかに過ごせるよう努力されている。
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	課題となっていた運営推進会議が設立され、開催されている。地元の消防団に呼びかけて防災訓練を行っている。また同業者との交流もなされ記録の改善もなされている。研修後の復命書も記録されている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員で分担し作成して意義の理解を深める為の取り組みがなされている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	地区の自治会や消防団に働きかけを行い、民生委員等の参加もあり運営推進会議として設立しており、防災訓練も行われている。事業所の活動状況や利用者の状況についての報告や話し合いはまだ取り組まれておらず、運営推進会議を活かした取り組みは今後の課題となっている。また介護相談員の受け入れや地域包括支援センターとの連携など図りながら、市町村との連携については取り組んでほしい。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	毎月1回「だんらん便り」が出されている。家族の面会時の声かけや家族会での交流もあり気軽に話せる関係がつけられている。また職員全体に家族の意見や意向を聞く姿勢がみられる。利用料金の請求と共に預かり金出納帳の写しの送付もされている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に入会しており地域行事に参加したり、事業所主催の防災訓練に協力依頼やコンサートの招待がなされている。毎日の散歩や買い物で、地域の人々との交流がある。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	家族や地域との連携をとり、その人らしく生活できるようにゆっくりとかかわり「自立支援」「症状の緩和」「日常生活の充実」を理念に掲げて取り組んでいる。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日のミーティングや月1回の職員会議で理念を掘り下した具体的な話し合いがなされている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しており地域の行事に参加したり、事業所主催の防災訓練の協力依頼やコンサートの招待がなされている。		ホームの外にある掲示板を利用して行事の案内を行う等より深い地域との交流の工夫を望みたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価表の作成を職員で分担して行い意義の理解を深める為の取り組みがなされている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地区の自治会や消防署に働きかけを行い民生委員等の参加もあって、運営推進会議として設立しており、防災訓練も行われている。事業所の活動状況や利用者の状況についての報告や話し合いはまだ取り組まれておらず、運営推進会議を活かした取り組みは今後の課題となっている。	○	運営推進会議を定期的に行い、事業所と地域の交流促進のための話し合いやサービスの質の向上に活かしてほしい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村との連携は行っていない。	<input type="radio"/>	介護相談員の受け入れや地域包括支援センターとの連携を行いながら、市町村との連携を図り、担当者に当ホームの理解や支援をもらうための働きかけをしてほしい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月利用料の請求と共に「だんらん便り」を作成し、送っている。また家族の面会時を利用して報告や、預かり金出納帳の写しの送付をしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会があり交流が深められている。また職員全体に家族の意見や意向を聞く姿勢がみられる。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	「便り」の中で職員紹介がされている。少ない常勤の職員ではあるが、固定の夜勤専門のスタッフがいる等利用者への対応の工夫がなされている。	<input type="radio"/>	馴染みの職員による安定、安心した介護の提供を行うために、運営者と共に職員の離職につながらないように働き続けられるよう労働環境づくりの取り組みを期待したい。
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	計画的に勤務内に研修会に参加出来るようなしくみがあり、職員会議の中で報告されており復命書の記載もある。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近くの同業者をふれあいコンサートに招いたり、他の施設を見学して記録の仕方を学んだりして交流を深めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学はいつでも受け入れている。緊急の場合の利用がほとんどで、即入所になる事が多い。新しい利用者に対して職員同士の情報を共有し合い出来るだけ早く馴染める様にしてている。		入居までに時間があるときはお試しの利用も考慮に入れてほしい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の得意な料理を教えてもらったり、本人の思いや不安喜び等を知る事に努めて、共に支えあう関係をつくりあげている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日のかわりの中で、一人一人の思いや本音を聞けるように、ゆっくりと「お茶」を飲める時間をつくっている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	自分らしく暮らせるように、本人家族の要望を大切に職員全体でカンファレンスを行い介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎日の業務の中で職員全員が介護計画の評価をするシステムになっており、現状に即した計画の実施を行う意識づけがなされていて3か月毎に見直しがされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	必要に応じて家族に代わり、利用者の定期的な通院治療の送迎や、なじみの店での買い物や散歩等柔軟な対応がなされている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人家族の希望に応じたかかりつけ医と連絡帳を用いた連携が図られ情報提供もなされている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	今の段階では看取りができない状況であるが、状況に応じて主治医と連携を密にして柔軟な対応をする為の話し合いがなされている。	○	早い時期に事業所としての体制をつくりあげて、重症化した場合に本人家族の意向が最重要視され、希望にそった支援が行われる事を期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	人格を尊重した言葉かけや対応がなされている。個人情報の記録についても他人の目にふれないように保管されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日の日課の中で、その人その時に応じた対応や作業のかかわりが工夫されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の野菜を用いた献立が立てられ、準備や後片付けも一緒に行われている。ゆったりとした雰囲気ですべて楽しんでいた。	○	利用者と職員がいつも同じ食卓を囲んで同じ物を楽しむ工夫をしてほしい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	好みに応じた入浴剤が使用されていて週3回の入浴を楽しんでいる。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの力が発揮できるような場面作りがされており日課として定着している利用者もいる。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の散歩や本人が希望すれば外食支援をしたり買い物に同行したりしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は開閉時にベルがなるしくみがあり、施錠はされていない。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署、地域住民の方と共に防災訓練が実施されたり、「訓練報告と災害時の救援活動のお願い」を回覧して協力依頼がなされている。	○	マニュアルの作成と災害用の備蓄の整備をお願いしたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分摂取量の記録がなされている。本人の要望や状態に応じ量や形態が調整されている。		
干					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	あちらこちらに季節の花がなにげなく生けてあり、共有の空間には御雛様があり心身の安らぎを感じた。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みのダンスや人形等その人の思い出の品が持ち込まれており、居心地よく過ごせるよう配慮されている。		